

早稲田大学日本語教育学会 2019 年 秋季大会プログラム

開催日時 2019 年 9 月 14 日 (土) 13:00~17:40

- 【会場】 早稲田大学早稲田キャンパス 3 号館 6 階(休憩室:606 教室)
- 【時間】 受付 12:30~13:00(3 号館 6 階エスカレーター横)
- 開会式 13:00~13:10(3 号館 6 階 601 教室)
- 口頭発表 13:10~15:00(3 号館 6 階 602 教室)
- ブックセミナー 13:15~14:00(3 号館 6 階 601 教室)
- ポスター発表 14:20~15:20(3 号館 6 階 607・608・609 教室)
- 企画 15:30~17:30(3 号館 6 階 601 教室)
- 総会 17:30~17:40(3 号館 6 階 601 教室)
- 懇親会 18:00~19:00(22 号館 8 階会議室)

【参加費】 会員無料・非会員 500 円 (事前申し込み不要。直接会場までお越しください。)

【懇親会費】 1,000 円 (参加自由。当日受付でお申し込みください。)

※本学会は紙媒体の予稿集は配布しません。予稿集は 9 月 7 日以降、学会ホームページからダウンロード可能になります。
モバイル端末にダウンロード、または印刷の上、ご参加ください。

【口頭発表】 13:10~15:00

会場：3 号館 6 階 602 教室	
13:10~13:40	(1) 日本語を学ぶ高校生が自らの経験や記憶を書くことの意味—発達を捉える視点から 本間 祥子 (早稲田大学大学院日本語教育研究科)
13:50~14:20	(2) 「話段区分調査」における区分一致箇所の言語・非言語的特徴 桐澤 絵里奈 (早稲田大学大学院日本語教育研究科 博士後期課程)
14:30~15:00	(3) 既存のナ行音・ラ行音の練習方法に関する一考察 —これまでの成果とこれからの課題— 劉 羅麟 (早稲田大学大学院日本語教育研究科 博士後期課程)

【ブックセミナー】 13:15~14:00

会場：3 号館 6 階 601 教室
『よくわかる教授法』を「舞台裏」から眺める 小林ミナ (著)『日本語教育 よくわかる教授法—「コース・デザイン」から「外国語教授法の史的変遷」まで』(アルク) 小林 ミナ (早稲田大学大学院日本語教育研究科) 藤田 百子 (早稲田大学日本語教育研究センター) 除村 美幸季 ((株)アルク・日本語事業部日本語編集部)

【ポスター発表】 14:20~15:20

第一会場：3 号館 6 階 607 教室	第二会場：3 号館 6 階 608 教室	第三会場：3 号館 6 階 609 教室
(1) 公立夜間中学における日本語教育の現状と課題についての考察—夜間中学教師へのインタビューと参与観察から見えてきたもの— 奥元 さえ美 (株式会社アークアカデミー/自主夜間中学「えんぴつの会」)	(2) 日本語母語話者と中国人学習者の美化語の使用の違い—日中 Skype 会話コーパスの分析より— 滝島 雅子 (早稲田大学大学院日本語教育研究科 博士後期課程)	(3) 日常生活における人称表現のバリエーション—学習者の用いる「人を呼びかける・指し示すことば」の記述を通して— 任 ジェヒ (早稲田大学大学院日本語教育研究科 博士後期課程)

【企画】 15:30~17:30

会場：3 号館 6 階 601 教室
「あってはならない」から「なくてはならない」夜間中学と日本語教育政策 —「日本語教育の推進に関する法律」の施行を踏まえた現場からの SOS <パネリスト> 関本 保孝 (元墨田区立文花中学夜間学級教諭) 田中 義恭 (文部科学省初等中等教育局 初等中等教育企画課教育制度改革室長) サブコタ・プспа (葛飾区立双葉中学夜間学級卒業生) <モデレーター> 宮崎 里司 (早稲田大学日本語教育研究科)